



ムトス飯田助成事業の決定について



27事業のムトス飯田助成事業を決定しました！

ムトス飯田推進委員会（会長：飯田市長、座長：塩澤哲夫、計11名の市民会議）は、本年度のムトス飯田助成事業への応募案件について審査し、別添のとおり27事業を採択し、助成交付を決定いたしました。

(決定事業の内訳)

助成事業	決定件数(応募数)	総事業費 (円)	交付決定額 (円)
まちづくり・地域づくり応援事業	25 (29)	10,134,680	5,862,000
多様な主体が連携する協働活動	2 (2)	1,240,000	670,000
計	27 (31)	11,374,680	6,532,000

(その他)

- ・6月7日時点において審査中の案件（まちづくり・地域づくり応援事業）が4件あります。6月下旬には審査結果を報告いたします。
- ・令和3年度限定でコロナ対策費を上乗せしています。（助成率10/10 上限5万円）
（対象例）消毒用品・マスクなどの消耗品、ウェブ環境の整備などに必要な経費等

■ムトス飯田

「ムトス」とは、広辞苑などにも載っている言葉「ん・と・す」を引用したもので、「まさに…しようとする」という意思を表す言葉（「…せむ（ん）とす」）。英語の Will と同じで、行動への意思や意欲を表している。

添付資料の有無

なし あり（別添のとおり）

飯田市ウェブサイトへの掲載

なし あり

後日掲載

発表の趣旨

政策・施策・事業等の発表

イベント等の事前告知

当日の取材依頼 市民・対象者等に対する周知依頼

イベント・事故等の事後告知

その他



リニアがもたらす大交流時代に
「くらし豊かなまち」をデザインする



合言葉はムトス
誰もが主役 飯田未来舞台

IIDA CITY <http://www.city.iida.lg.jp/>

問い合わせ先

ムトス飯田推進委員会（事務局 ムトスマ
ちづくり推進課）担当：前澤

電話：0265-22-4511

FAX：0265-22-4568

mail：mutosu@city.iida.nagano.jp

別添資料

まちづくり・地域づくり応援事業					助成回数	総事業費 (円)	交付決定額 (円)
通番	団体名等	代表者	取組名称	取組概要			
応1	特定非営利活動法人 南信州クラブ	理事長 木下要弥	天龍峡八重桜街道 さくら祭り 少年ラグビー 交流大会 横断幕設置事業	毎年、天龍峡八重桜街道さくら祭りに合わせて少年ラグビー交流大会を開催。来街者へ手作りグラウンド並びにイベント活動の周知を図る観点から横断幕を作成し掲示するもの。	〈初回〉	95,355	59,000
応2	はなぶさ村農園	佐藤智英	子供たちの農育・食育・居場所づくり	子どもたちが、大人や地域の人と共に農業に触れる体験をすることにより、農業の楽しさや知識を知ることができる。世代間コミュニケーションをとることができ、社会性を学べる場にもなる。地元農家の指導の下、野菜の種まきから収穫、販売までを行う。	〈2回目〉	427,630	280,000
応3	NPO法人もりの学校	小林俊二	子供のためのプロムラミングとロボット大会の開催	子ども達が育った環境で学力が左右されないよう、現在、ネット上で小学生を対象とした学習できるページを開設しているが、パソコンを操作できる環境にない小学生もいる。土・日曜日に公民館などを会場としてパソコンなどを利用した学習教室を開催している。本年度はロボット大会を行い、プロムラミングの面白さを広める。	〈3回目〉	345,000	239,000
応4	鼎地区まちづくり委員会	安田莞爾	鼎地区地域コミュニティ情報発信事業	まちづくり活動や各種団体の活動など地区での暮らしに関する情報を継続的に発信できる環境を整え地域内外へ広く周知・連携することで、地域の暮らしや活動への理解を促進し、人口増加、組合加入率の向上、移住・定住の促進に繋げることを目的とする。	〈初回〉	531,300	219,000
応5	松尾郷土芸能まつり実行委員会	実行委員長 宮澤直人	第4回「松尾郷土芸能まつり」	地区内の伝統芸能が一同に会し、共演する祭りを開催することにより、それぞれの郷土芸能の保存伝承、後継者の育成とともに、地域住民の郷土意識の高揚や一体感の熟成を目的に開催する。鳩ヶ峯八幡宮を中心に開催することにより、交流による賑わいの創出にも繋げる。	〈3回目〉	500,000	350,000
応6	猿庫の泉愛護会	会長 篠田信秀	猿庫の泉おもてなし事業	名水百選にも選ばれている「猿庫の泉」を、地域の重要な資源として持続的に守り活用していくため、地区内の関係団体が参画して組織を立ち上げ実行を行うことで、来客数の増を目指して周知や来客が気持ちよく過ごせる環境づくりを行う。	〈2回目〉	471,500	300,000
応7	丸山まちづくり委員会	会長 小澤伸好	未来へつなぐ風越山麓わくわくプロジェクト	リニアや三遠南信自動車道開通による交流人口の増加を見据え、観光客受入れの体制づくりに取組む。活動に若年層を加える事により、還って来たいと思える地域づくりや資源づくりに取組み、これを活用して移住・定住につなげたい。植樹した花木の管理、ツリークライミング、携帯トイレの普及、NPO設立学習会等を行う。	〈3回目〉	367,000	256,000
応8	千代地区まちづくり委員会	関口俊博	千代の明るい未来を描く～第4次千代地区基本構想計画の推進	令和2年度に第4次基本構想を策定し地域住民が一体となって地域づくりを進める機運を高めた。今年度は基本構想の内容が1枚でわかるポスター、進捗シートを作成し、各戸配布を行い、住民一人ひとり、各団体、各組織が具体的な取り組みに繋げるものとする。	〈2回目〉	254,650	178,000

通番	団体名等	代表者	取組名称	取組概要	助成回数	総事業費 (円)	交付決定額 (円)
応9	羽場獅子舞保存会	相津良彦	羽場獅子舞保存会活動動画作成事業	羽場地区民の宝である「権現堂の獅子」を地域の伝統芸能として後世に継承すべく神社行事や地区事業に参加し活動を行っている。コロナ禍の影響により団体での練習時間や会場の確保が困難なことから、録画・録音したDVDを作成し自宅で舞等の練習が可能となる環境を整えることで後継者づくりを行う。	〈初回〉	80,000	56,000
応10	天龍峡温泉観光協会	牧内 健	天龍峡花の里推進活動	天龍峡大橋を訪れた観光客を、景勝地まで誘導するため、①破損看板の補修。②山桜、岩間つつじ、菜の花を各所に植栽する。	〈2回目〉	447,000	300,000
応11	NPO法人飯田ブルーベリー振興会	清水 實	遊休農地でブルーベリー栽培を行います	川路地区には遊休農地が多く、農業者も高齢化してきており後継者不足も問題となっている。このような場所で新規栽培者を中心としてブルーベリーの栽培を行い、遊休農地の解消と栽培研究学習成果の実践を行う。	〈初回〉	160,000	104,000
応12	立石区祇園祭	立石区長 玉置昌平	立石区祇園祭に係る関係備品等の整備	祇園祭を実施していくにあたり獅子舞やお囃子技術の習得をしているところであるが、三味線や太鼓等の経年劣化や老朽化が随所に見られていることから、複数年計画による修繕・改修を行い、今後の祇園祭を盛大に開催することで、祭りの文化を後世に伝えていく。	〈初回〉	274,000	191,000
応13	佐倉さま桜まつり実行委員会	宮下博	佐倉さま 眺望はいぞ!	桜まつりを通して、北方地域内外に北方佐倉公園の眺望や自然環境を発信することにより、伊賀良地区の発展に寄与したい。地区内の多数の各種団体と共に桜まつりを開催し、人を呼び込みたい。	〈3回目〉	403,078	230,000
応14	NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師	中島武津雄	木工製品販売環境整備及び普及啓発事業等の推進	里山の間伐等による地域材を暮らしなどに利用してもらうことにより、①CO2の削減 ②プラスチック廃棄物の削減 ③健全な里山づくり ④地域活性化に繋げる。このための加工機器の導入、施設の環境整備を実施する。	〈3回目〉	441,788	300,000
応15	麻績の里振興委員会	委員長 筒井誠逸	麻績の里おもてなし事業	令和4年4月に開催される元善光寺御開帳に向けて、地域の食事処、土産処、歴史文化を紹介する「座光寺おもてなしマップ」(仮称)を作成、配布する。また、周辺に花のブランターを設置する。	〈3回目〉	375,100	262,000
応16	STUDIO STEEZ	久保田 愛	動画でリンゴン	昨年のコロナにより飯田りんごんが中止となったことから、飯田市内40団体や店舗に協力をいただき、リンゴン動画を作成し発信した。昨年好評だったことから今年も動画を作成し、参加団体や参加店のサポート、PRを行うことで、飯田の活気をアピールする。	〈初回〉	460,000	330,000

通番	団体名等	代表者	取組名称	取組概要	助成回数	総事業費 (円)	交付決定額 (円)
応17	NPO国際りんご・シードル振興会	理事長 後藤高一	ハイブリット型 ポム・ド・リエゾン養成講座	新しい生活様式に転換した養成講座を実施することにより、リンゴを育む飯田・南信州地域の地域資源を知る又は再認識するとともに、りんご産地とのつながりからシードルを学び、当地域の交流人口及び当地域のリンゴやシードルのファンをつくり、地域産業を支える人材を育成する。①オンライン学習ツールの制作 ②感染症対策型の地産学習ツアー ③資格認定	〈初回〉	880,200	350,000
応18	飯田市赤十字奉仕団 紙芝居班	北原成子	紙芝居DVDの教育・福祉施設等配布事業	コロナ禍により、外部との接触や施設慰問を受ける機会が減ってきたことから、飯田の民話・伝承・郷土の偉人や災害伝承のDVDを作成し、学校・図書館のほか、施設（デイサービス等）に配布し、鑑賞を楽しんでいただく。	〈初回〉	431,000	270,000
応19	CHIKURIN	宮内 雅	竹林活用プロジェクト	放置竹林が年々増加しているため、竹の利活用（竹炭・竹食器・メンマ製造）を行うことで竹林整備と環境悪化の防止に努める。①竹炭を活用した土壌改良・有機農法の活用 ②竹食器の活用によるCO2削減 ③幼竹を活用したメンマ製造による食への利用拡大	〈初回〉	170,000	110,000
応20	鼎農地耕さくらぶ	木下周次	鼎地区での遊休農地の解消	地域の防災機能保持、環境保全、景観の維持、農地の有効活用のために遊休農地を少しでも解消し、地域活性化につなげる。具体的には遊休農地（58a）に水田をつくり農業委員や農協と連動して取り組み、販売の確保を行うことで黒字化を目指す。	〈2回目〉	1,274,358	270,000
応21	大宮通り桜保存会	井上 基	大宮通り桜並木イルミネーションライトアップ事業	東野地区基本構想の実現に向けた実行。東野地区のシンボルとして、現在は暗く歩きにくい並木道を明るくし、仏閣6社と大宮神社の景観に合った電飾を配置し、常夜灯の如く感じて頂ける桜並木イルミネーションとする。事業においては橋北地区まちづくり委員会の指導のもと、学生ボランティアを始め、東野地区20町内より参加協力を求める。	〈初回〉	480,085	350,000
応22	代田地区寺子屋運営委員会	事務局長 松澤秀明	代田地区寺子屋運営委員会	「地域の子どもを地域で育てる」を実現するため、地区内の小学生を対象に、夏休み中に毎日の学習支援のほか、「工作教室」、「星見の会」、自分でおにぎりを作る「朝食会」を実施する。冬休みには「書初め教室」を行う。本年度は、ラジオ体操に新たに地域の高齢者を加える事により、多世代交流を更に進めると共に、活動の周知も進めたい。	〈3回目〉	183,500	121,000
応23	代田獅子囃子保存会	会長 後藤功平	小学生のための「笛」の吹き方教室	伝統の民俗芸能である代田獅子囃子を未永く継承するため、参加対象を、今まで参加してくれている小学3・4年生の女兒に加えて小学生全般に広げ、地域コミュニティの拡大や子どものふるさと意識を育てることに繋げていきたい。	〈3回目〉	196,900	137,000
応24	一般社団法人 South-Heart	森本ひとみ	エンカルマルシェ	「買い物はしあわせな未来への選択！」をコンセプトに、人にも地球にも環境にもやさしい「いいもの」が買える場所と出逢う場所を提供する。コロナ禍の状況を踏まえて9月の1週間をエンカルマルシェとし、エンカルマルシェを企画する。	〈初回〉	379,400	280,000

通番	団体名等	代表者	取組名称	取組概要	助成回数	総事業費 (円)	交付決定額 (円)
応25	北方壮年団	近藤和孝	北方壮年団創立40周年記念事業遊歩道整備	信濃路遊歩道整備を10年前に実施したが、丸太橋、枕木階段等老朽化が進み危険な個所があるため改修工事を実施する。整備後は遊歩道を活用していただくためのPR活動を行う。	〈初回〉	505,836	320,000
件数						10,134,680	5,862,000

多様な主体が連携する協働活動

協1	プロ野球選手を招く会	池田大介	第二回飯田市少年野球教室	スポーツ人口、野球人口が減少している。野球をやっている子ども達の技術や野球に対する考え方を様々な角度から見る事ができるように、プロ野球選手を招いて野球教室を開催する。子どもたち、指導者、保護者が怪我防止についての理解を深め、見つめ直す機会にもする。	〈2回目〉	750,000	320,000
	飯田市少年野球指導者協議会	川手康司					
協2	竜丘公民館	田添莊文	児童用読本「自由画教育と木下紫水」の制作とその活用	竜丘小学校開校150周年(令和4年度)を迎えるにあたり、竜丘の誇りである「自由画教育」を将来へ伝承していくこととして、地域と学校、PTAが連携し「自由画保存顕彰委員会」を中心に児童用読本の制作を行い、学校を始め地域の学習資料として活用をしていく。	〈初回〉	490,000	350,000
	飯田市立竜丘小学校	山崎 啓					
件数						1,240,000	670,000

11,374,680 6,532,000

初回 13 48.15%
2回目 6 22.22%
3回目 8 29.63%